



かどましりつとしょかんだより

2025年 12月 第49号

いよいよ今年もあと1か月。クリスマスにお正月と、冬休みは夏とはまた違う楽しみがありますね。図書館も12月29日からお休みしますので、注意してください。今回は、寒い冬にほっとあたたかくなる本を紹介したいと思います。よいお年をおむかえください。

おすすめのほん

「雪のふしぎ」
いしがきわたる／え ふるかわよしのり／かんしゅう マイルスタッフ



えほん

寒くなると、雪がつもらないかなと楽しみにしますが、じつは雪は一年中ふっています。夏はあついで、空からおちてくるとちゅうでとけて雨になってしまうのです。では、すなだらけのさばくでは？こおりにおおわれたなんきよくではどうでしょうか。雪にかんするさまざまなふしぎをわかりやすくおしえてくれます。

「ゆきだるまとかがみもち」
林木林／作 岡本よしろう／絵 すずき出版



えほん

ゆきだるまとかがみもち。違うよう形でいて姿かたちはそっくりな2つ。あるときお互いの姿をみて、にているねとみつめあいます。ゆきだるまは部屋の中に入っかがみもちといっしょに遊んだけれど、とけちゃった。おじいさんが助けてくれてまたお外へ。はなればなれになってしまったけれど、いつかまた遊べる日がくるといいですね。

「サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません」
市川宣子／作 高橋和枝／絵 ポプラ社



やさしいよみもの

クリスマスが近づくと自分の名前が嫌になる黒須三太くん。噂のせいで1年生からお願いの手紙がたくさん届いてしまう。おまけにしゃべるトナカイから今年の100万人目のサンタクロースに指名され…。三太・たくや・和人の3人組が大活躍するクリスマス。行方不明のサンタクロースは見つかるのか？ワクワク温かい気持ちになれる本。

「ジャンプして、雪をつかめ！」
おおぎやなぎちか／作 くまおり純／絵 新日本出版社



よみもの

5年生の3学期、唯志は東京から青森にある祖母の家の近くに引っ越してきた。両親が離婚しママと2人で暮らし始めたが、雪国はなれないことばかり。家はボロボロでトイレは「ぼっとな」式だし、水道管を凍らせると水も出ない。うんざりしていた唯志だったが、雪下ろしや家事に挑戦し、まわりの人に助けられながら新しい生活を築いていく。

としょかんからのおしらせ

えほんのひろば

とき：12月20日（土）～21日（日）午前10時～午後4時

ところ：門真市民プラザ2階 プレイルーム（北島図書館前）

面展台上に約300冊の絵本や写真集をずらりと並べます。

どなたも自由に本を選んで読むことができます。※申し込み不要

グリム絵本館がやってきた！

「絵本の世界へサンタさんとしゅっぱーっ！！」

とき：12月21日（日）午後2時～3時

ところ：門真市民プラザ2階 プレイルーム（北島図書館前）

手遊び、絵本の読み聞かせ、工作

※参加したい人は、北島図書館に申し込んでね

としょかんクイズ

おおみそかに食べるものといえば、としこし「そば」。そばもうどんも、形や食べ方がよく似ていますが、どちらの方がより早く、今のような長ぼそい形で食べられるようになったのでしょうか。

こたえ→ うどん

◆おまけ◆

うどんは室町時代、そばは江戸時代から。そばは韓国から製法が伝わるまで、そば粉を練っただけの「そばがき」が食べられていました。

【参考文献】

- ・日本食の大研究 P28
- ・ポプラディア2 P193 うどん
- ・ポプラディア9 P282 そば

次号は2月上旬に発行予定

